

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 3年生向け教員採用試験対策本格化

教職課程を履修している3年生を対象とした教員採用試験説明会が2日連続で開催されました。2022年12月21日には、東京都教育庁人事部選考課の羽田和生課長代理から東京都の教員になることの魅力、教員の働き方改革、研修制度、教員採用試験のあらましなどについての説明がありました。翌12月22日には、千葉県教育庁教育振興部教職員課の四宮大親管理主事から、教師になることの魅力、千葉県の求める教師像、研修制度、働き方改革などの説明や、千葉県教員採用試験のあらましなどについて

東京都 羽田課長代理

千葉県 四宮管理主事



の説明がありました。東京都説明会に参加した学生からは、「自分で調べても得られなかった情報や貴重な体験談を聞くことができ、とても勉強になった」「誰一人残さず、すべての子供が将来への希望をもって自ら学び、育む教育、という考え方に感銘を受けた」などの感想が寄せられました。千葉県説明会参加学生からは、「人の成長に携わりながら自分も成長できるという教師の魅力が分かった」「学校でも働き方改革が進んでいることが分かった」「集団面接の討論では、協調性が大事であることが分かった」などの感想が寄せられました。



## 教職実践演習特別講座実施

12月12日に教職課程4年生34人を対象とする教職実践演習第12回の授業において、外部講師をお招きした特別講座を実施しました。講師は東京都港区立白金小学校校長の吉野達雄先生でした。吉野校長には、創立147周年を迎えた白金小学校での学年担任制や生徒指導の取組についての紹介の他、教員に求められる資質・能力に関わる講義・演習を行っていただきました。また、白金小学校の5年生担任の花井先生と小野澤先生にもご参加いただき、ICTを活用した朝会やゴールを見据えた指導について実践報告していただきました。学生からは、「講義・演習を通して、教員だけでなく社会人に求められる様々な資質や能力について考えることができた」などの声が聞かれ、



吉野達雄校長

教職について、より学びを深めることができる授業になりました。

## うらやすこどもクエスト

12月26日、本学体育館にて、浦安市と本学との包括連携協定に基づき、子どもたちの知的好奇心や広い視野を培うことを目的とした、うらやすこどもクエストが3年ぶりに開催されました。本事業は浦安市が市内の3つの大学の協力の下、開催しているものです。今回は浦安市内の公立小学校の児童11人が参加し、「外国の語学や文化を身近に感じませんか？」の学習テーマのもと、教職課程センターの百瀬美帆教授、多言語コミュニケーションセンターのPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授が指導に当たり、12人の教職課程履修学生がサポートを行いました。子どもたちは、簡単な英語を使いながら、「スーパーカーレース」や「インタビュービンゴ」などのコミュニケーション活動を大学生とともに楽しく行い、活動後には学生の案内で大学見学をしました。

右写真は活動の様子



## 学校授業見学研修 — 課題探究活動 —

教職課程を履修している2、3、4年生が課題探究活動として東京都内の中学校、高等学校を訪問した様子を訪問校ごとに報告します。

1月12日に2年生第1グループ19人と3年生2人が豊島区立明豊中学校を訪問し、英語、国語の授業、一人1台のタブレットを使用した授業等を見学して、学生たちは皆、貴重な経験をすることができました。事前に同校のホームページを他校と比較し、レポートにまとめたりするなどして臨んだ学生もいました。研究協議では、学生から、「学校の課題は何か」「それに対して何に取り組んでいるか」など、本質に迫る質疑・応答となりました。最後に山本英行校長の「教育者として絶対に必要であり、大切なこと、それは『心身の健康』だよ」という言葉に参加学生たちは、大きくうなずいていました。



同日に、2年生の第2グループ24人と4年生5人が文京区立音羽中学校を訪問し、アクティブボードを用いた国語、英語の授業やALTとのチーム・ティーチングの事例を見学しました。齊藤正富校長からは、教員として必要な資質・能力や、教員としての心構えや、これから教員を目指す学生への励ましの言葉などをいただきました。学生からは、「子供たちには間違ふことを恐れずに、励ましながらかんげんさせることが大切だということが分かった」「東京都の教員を目指したい」といった感想が聞かれました。

1月13日には、3年生36人と4年生5人が東京都立千早高等学校を訪問しました。最初に小塩明伸校長から学校経営についてお話を伺った後、6、7時間目の英語や国語の授業や、英語多読授業で活用されているEnglish Roomの見学をしました。参観後の学生と若手の先生方との懇談では、先生方から「心が動く仕事がしたくて教師になった」などのお話を直接聞くことができました。参加した学生からは「実際に現場を見ることで、今の自分はどうすれば理想の教師に近づけるのかを深く考え、向き合うことができた」という感想が聞かれました。



## ボランティア活動報告会

1月18日に2022年度ボランティア活動報告会が行われました。英米語学科4年生の及川龍之介さん、鈴木歩さん、橋本ありささん、武藤美優さん、横田裕哉さんの5人は、4年間で60時間以上のボランティア活動を行い、その成果をパワーポイント資料を使いながら多くの教職学生や教職員の前で発表しました。発表後には大澤貴士学生支援課長から講評をいただき、学生たちは誇らしい表情を見せていました。

延べ181.5時間の活動を行い、卒業後は様々なボランティア活動を主催している非営利団体職員となる及川さんは、「この経験は自分にとって卒業後の進路を考える上での大きなきっかけになりました。後輩の皆さんも何らかの形でボランティア活動をぜひ経験してほしい」と話していました。



### 2023「大学と地域連携の未来」シンポジウム

アフターコロナを見据えた大学教育と地域連携  
～地域連携の現状を踏まえたICTの可能性～

日時：2023年2月4日（土）  
12:00～16:40

会場：明海大学浦安キャンパス  
※ハイブリッド開催

参加費：無料

※右の二次元コードよりお申込みください。



アゴラ活用状況（人）	
12月	847
2018年からの延べ数	58,357